

令和5年度 園による自己評価 結果報告書

1. 本園の教育・保育の理念と目標

“里山の暮らしの中に子どもたちの育ちがある”をモットーに、幼児期に必要な感覚や生活力を育むため、室内の静かな環境における生活と、里山の自然の中での活発な活動の両方を大切にす。シュタイナー教育を根幹に、一人ひとりの個性を尊重し、個人の能力を最大限に引き出す働きかけができるよう配慮した教育・保育を目指す。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- (1) 年齢や在園時間が異なる園児と一緒に過ごしているため、生活リズムの違いに配慮した教育・保育を目指す。行事のあり方を工夫し、毎日変わらない、安定した生活を確保するよう努めること。
- (2) 進級する子どもと新しく入園する子どもなど、集団生活の経験年数の差などを考慮した対応を考え、教育・保育内容を工夫すること。
- (3) 職員間での教育・保育目標の共通理解を図り、どの職員も同じような子どもへの関わり方ができるように、子ども一人ひとりの発達を共有すること。
- (4) 職員全員に共通した保育技術が身につくよう内部研修を工夫し、シュタイナー教育研修やオイリュトミー研修を行う。

3. 自己評価の結果

評価項目		総合評価
保育目標について		
1	保育目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A
2	目標は、施設や地域の特色を生かしているか	A
3	目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A
4	目標は前年度の反省を活かしているか	A
5	目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A
保育について		
6	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A
7	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	A
8	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	B
9	素材・用具を適切に活用しているか	A
10	評価結果を基に保育の改善に努めているか	B

評価項目		総合評価
日時程について		
11	1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか	B
行事について		
12	行事の種類や実施回数は適切か	B
13	行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか	A
14	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	A
15	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	A
16	保護者の願いや意見を取り入れているか。	A
分掌・体制について		
17	能率的、合理的な運営組織になっているか	B
18	職務内容が明確で、協働できる体制になっているか	A
19	職員の配置は適材適所か	A
20	係や仕事の分担・割り当ては適切か	
運営について		
21	各種会議を適切かつ効率的に進めているか	B
22	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	A
23	打ち合わせ回数、時間、内容は適切か	B
年齢別保育について		
24	年齢別目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	A
25	年齢別目標は乳幼児の実態に即して設定しているか	A
26	年齢別目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A
27	同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか	A
28	意義や趣旨を理解した保育を行っているか	A
29	評価、資料を集積しているか	B
保健・安全指導について		
30	年齢別保育に活かされるような具体的保健対策を講じているか	A
31	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A
32	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	A
33	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A
所内研究・研修について		
34	研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A
35	所内研修の計画・運営は適切か	A
36	研究の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A
37	研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか	A

評価項目		総合評価
所外研究・研修について		
38	各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか	A
39	各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか	A
情報について		
40	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	A
41	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	A
42	各表簿は適切な時間、方法で作成と処理しているか	B
施設・設備について		
43	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	B
44	遊具・用具等を活用しやすいように整理、保管しているか	B
45	不審者等に対応する周到的配慮を行っているか	A
46	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	B
47	第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	A
48	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A

4. 保護者アンケートの結果

集計結果は別表のとおり。

5. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育目標に向かって保育に取り組んでいる結果が表れている。保育時間外の業務に関しては、業務分掌の整理と周知が必要である。 ○ やまほいく特化型の園として、「目指す保育」を具体的に掲げ職員間で共有し、実現させていきたい。 ○ 保育システムの導入に伴い、業務軽減につながり、正確性が高まった反面、入力に関わる時間を確保する必要が生じた。 ○ 園バスの運行が、計画的に行われ、新たな園外活動のフィールドもできたことで、子ども達が季節を感じながら過ごすことができた。 ○ 職員研修を定期的実施、職員のスキル向上につながっている。

以上